

－ ひとり親家庭・寡婦の生活向上に寄与するための相談窓口 －

大分県母子寡婦福祉連合会

所在地 大分市大津町2丁目1-41
業種 社会福祉の専門的職業
事業内容 母子家庭の母及び寡婦の福祉推進のための事業
設立年 昭和27年
従業員数 15人（うち65歳以上6人）
高齢者雇用制度

定年65歳、再雇用制度あり（年齢上限なし）



シニア雇用の背景・取組

当法人は、65歳以上の従業員が全体の40%を占めています。主な職種は、ひとり親・寡婦相談員、職員寮の寮母、調理員などです。

健康に問題なく元気であればいつまでも働いてもらいたいと考えています。

シニアの方は経験豊富で臨機応変に対応ができ、周りへの配慮も行き届いています。

シニア人材を雇用するうえでの配慮

休暇取得、定時退社を勧めています。健康管理が第一で健康診断の受診等を徹底しています。

県内に点在している寮母等の情報共有や交流を図るため、全体研修会を開催したり、働きやすい環境づくりをテーマとした会議を管轄部署で開催したりしています。

今後も話し合える場をさらに増やしていきたいと思っています。

活躍シニアのご紹介 足立 圭子 さん（65歳）

相談員と事務長を兼任しています。相談業務は多いときで1日に5人の対応をしたことがあります。相談は電話・来所・メール等で受けています。相談内容によって所要時間も異なりますが、1人の相談に1時間以上要する場合があります。一番多い相談内容は「離婚前相談」です。無料の法律相談（弁護士）へ繋ぐことが多いです。

20数年、母子・父子・児童の相談員をしていますが、人と接することが好きです。個々の相談内容に心を寄せながら対応しています。

自身の気持ちの切り替えは、趣味の日本舞踊で出ています。健康で社会と関わっていくことが大切だと感じています。



工作中的足立さん